

## 展示スケジュール

### 銘仙展 夏

あこがれの 大正・昭和

5. 18[土] - 7. 28[日]

明治維新後、生糸は海外に盛んに輸出されましたが、国内ではアールヌーボーやアール・デコの影響を受けたデザインの名産品が大正から昭和初期にかけて大流行しました。本展は銘仙の中でも初夏～秋の単衣の着物を選び、「銘仙展 夏」として開催します。



蜻蛉に蓮紋単衣銘仙

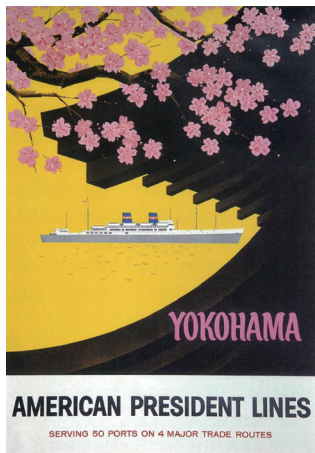
企画展

### 世界の客船ポスター展

横浜みなと博物館コレクション

8. 3[土] - 9. 8[日]

日本の開国と時期を同じくするように、欧米では蒸気船による定期航路が開かれて太平洋や大西洋に大型客船が就航しました。これらの定期航路の客船ポスターには当時の人気デザイナーを起用し旅行機運を煽っていました。日本の海運会社を含めた 1950 年代までの客船ポスターを紹介しします。



レッド・スター・ライン  
アントワープ = ニューヨーク  
1923年 横浜みなと博物館蔵

アメリカン・プレジデント・ラインズ  
YOKOHAMA  
1958年 横浜みなと博物館蔵

企画展

### エトランジェ

フランスを愛した日本人画家たち

9. 14[土] - 11. 17[日]

“ETRANGER(異邦人)”は、1960年代末にフランスに定住した日本人アーティストたちが、早い段階で理解したフランス語のひとつでした。彼らのほとんどは 30 代で海外渡航が自由化されたばかりの日本を離れ、フランスへ渡りました。本展は日本からフランスに渡った作家の作品と同時代のフランスを撮影した鈴木保広の写真等により、当時のフランスの風景や世相、空気を伝えてまいります。



地中海 (風の日) | 油彩、山下亮



70年代のパリ

特別展

### 掛井五郎の仕事

11. 23[土] - 2025. 1. 19[日]



遠い声 | エッチング・アクアチント、1987

西の方へ | ブロンズ、1987

掛井五郎 (1930~2021) は静岡市音羽町に生まれ、東京芸術大学を卒業した後に東京を拠点に活躍しました。様々な形で人間を表現しましたが、彫刻だけに留まらず油彩画や版画にも秀でており、まるで何人もの作家が制作したように感じます。本展は一般財団法人掛井五郎財団が所有する 10,000 点以上の作品中から彫刻や絵画、版画を精選して紹介します。

企画展

### 缶詰ラベルと静岡の缶詰

企画展

1. 25[土] - 3. 23[日]

1929年に静岡でまぐろのツナ缶が開発されて翌年にはアメリカに輸出されました。以来、みかんなどいろいろな缶詰の開発を続け、現在でも静岡は“缶詰王国”を自称しています。そこで、当館がコレクションしている缶詰ラベルと缶詰の製作や流通、広報関連資料により、静岡の缶詰を紹介してまいります。

紙製缶詰ラベル



### 黒猫奇譚

坂崎幸之助コレクション

3. 29[土] - 5. 11[日]

企画展



ガラス製の黒猫の置物



マッチ箱ラベル

坂崎氏が 30 年かけて収集した、黒猫グッズを紹介しします。明治から昭和時代にかけて国内で制作されて、海外へも輸出した黒い猫の置物を陶器、ガラス、木、紙など、素材に分けて紹介しします。

### ギャラリーコーナー

①4・5月 寺岡香織  
日本画

②6・7月 井出静佳  
鉛筆画

③8・9月 スズキササチコ  
蜜蝋画

④10・11月 三瓶玲奈  
油彩画

⑤12・1月 青木悠太郎  
木彫

⑥2・3月 夏目とも子  
ミクストメディア

